

越沢自治会について

- (1) 推薦地区名称 「越沢自治会」(鶴岡市)
- (2) 代表者 「会長：伊藤 治 (いとう おさむ)」
- (3) 地区概要

越沢活性化ビジョンのもと、住民団体やそば生産組合などの関係団体と連携しながら、住民総参加で地域づくりに取り組んでいる。住民が持つ個々の特性を最大限発揮できる「出番づくり」が行われており、「地域内での小さな成功体験」を積み重ねることで、自立した地域づくりに向けた意識と意欲が醸成され、行政に頼らない自主運営に繋がっていくための基盤となっている。

(4) 主な取組み

① 農業生産面

在来作物に認定された越沢三角そばを集落内のそば店で提供するため、経費を算定した上で買取可能価格を計算し、自治会が固定価格(450円/1kg)で全量買取っている。安定した収入が得られる仕組みの構築により、生産農家は2戸(約0.8ha)から17戸(約14.9ha)に増加し、集落内のそば作付のすべてが越沢三角そばに移行している。



【在来作物越沢三角そば】

三角そばのブランド化に向け、集落外への種の持ち出し・栽培を行わないルールづくりや交雑防止のための作付管理を行っている。令和2年に「越沢三角そば」として自治会が商標登録を行い、在来作物としての希少価値を維持している。

高齢により引退した生産農家のほ場を既存農家が引き継ぎ、意欲のある集落内外の方と共同で栽培に取り組む体制づくりを進めており、令和5年には新規栽培者が4名増え17名となり、栽培技術の継承と担い手育成に繋がっている。

② 生活・環境整備面

住民が抱える問題や将来の不安を把握するため、世帯単位ではなく、中学生以上の全住民を対象にアンケートを実施し、先進地視察やワークショップをとおして、地域住民が話し合いながら越沢活性化ビジョンを策定している。



【そば処まやのやかた】

自然豊かで美しい原風景を後世に残すため、遊休農地へのそばの作付や、集落住民で越沢の棚田の保全活動や郷清水や遊歩道の環境整備に取り組んでいる。

越沢三角そばを核に、地域のPRと働く場の確保に繋げるため「そば処 まやのやかた」を運営し、そば打ち体験、そばまつり、そばそうめん等の加工品の商品化、地域内外との交流創出を行っており、年間3,000人ほどの来訪がある。